

2025年4月15日
サカタインクス株式会社

印刷関連業界における廃棄物のサーキュラーエコノミー実現に向けた取り組み 当社大阪本社移転に伴うオフィス機器廃棄の再資源化をエムエム建材株式会社と実施

サカタインクス株式会社(本社:大阪市西区、代表取締役 社長執行役員:上野 吉昭、証券コード:4633)は、本年4月に予定している当社大阪本社移転に伴い、オフィスで使用していた什器等の再資源化をエムエム建材株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:温井 健夫)と実施いたします。

当社は、印刷やパッケージ産業における廃棄物の再資源化に向け、サーキュラーエコノミー^{*}の実現を目指し、実証実験を進めています。これまで、金属スクラップや廃インキ、PET 廃材のリサイクルに関する取り組みを発表してきましたが、今回はオフィス什器等の再資源化に着目し、オフィス移転時に発生する廃棄物の適切な資源循環モデルを構築するための実証実験を実施します。

当社大阪本社移転に際しては、これまで使用していたオフィス什器等(デスク、椅子、パーテーション、OA機器、キャビネット、照明設備など)の多くが廃棄対象となります。これらの多くは鉄やアルミなどの金属資源を含んでいるため、適切に分別・処理することでリサイクル可能です。本実証実験では、金属リサイクルの分野で深い知見と実績を有するエムエム建材株式会社と連携し、オフィス什器等を分別・回収し、再資源化のプロセスを確立する取り組みを進めました。

当社では、これまで使用済みのインキや溶剤、金属製容器、プラスチック、老朽化した生産設備などのリサイクルを実証実験という形で進めており、その有効性を確認しています。今回のオフィス什器等の再資源化に関する取り組みは印刷関連産業のみならず、さまざまなオフィスにおける資源循環の可能性を探る重要なステップとなります。

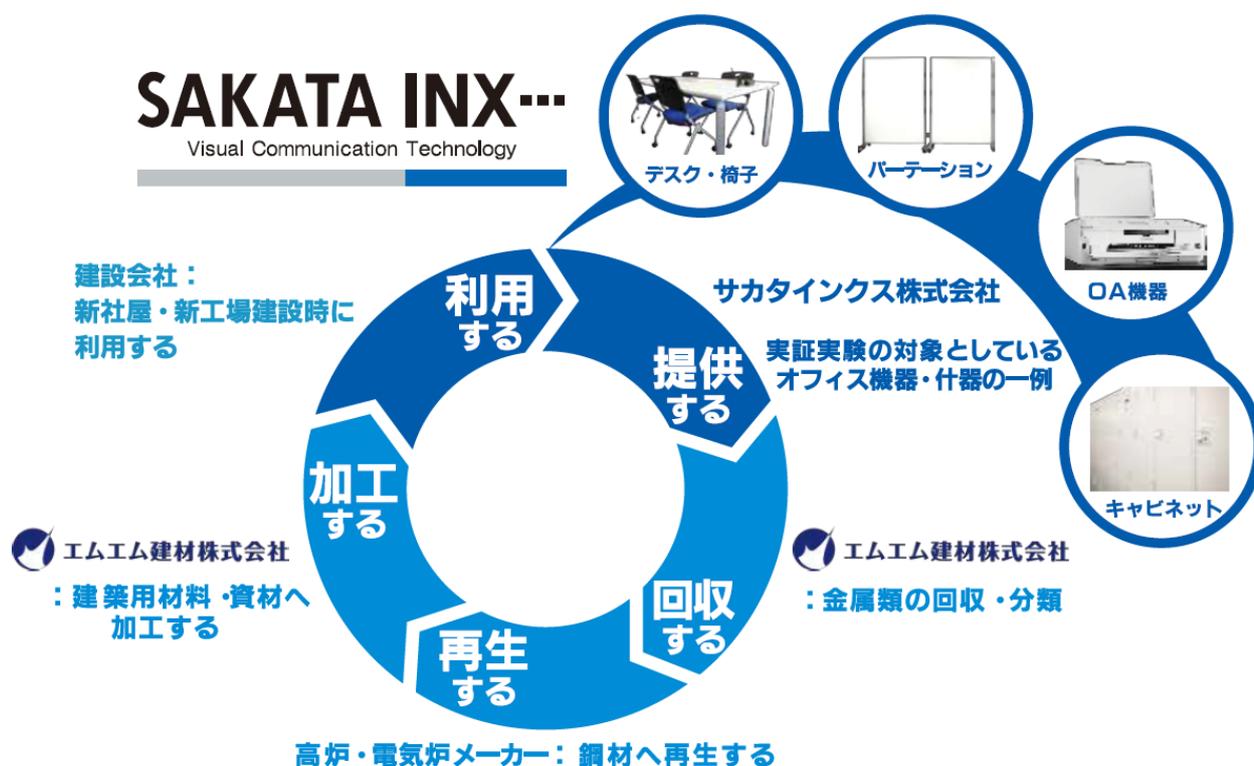
今後は環境面、経済面でのメリットを実績として算出するとともに、継続して実証実験及びこれらの取り組みにご協力いただける資源リサイクルのパートナーを募集し、廃棄物の再資源化に向けた一連のスキームを構築してまいります。

※サーキュラーエコノミー(循環経済)

3R(Reduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル))の取り組みに加え、資源投入量・消費量を抑えつつ、ストックを有効活用しながら、サービス化等を通じて付加価値を生み出す経済活動であり、資源・製品の価値の最大化、資源消費の最小化、廃棄物の発生抑止等を目指すもの。

(出典:環境省ウェブサイト)

◆サーキュラーエコノミーの循環図



＜リサイクルパートナーの募集＞

現在、当社の取り組みにご賛同いただけるリサイクルパートナーを募集しています。
ご興味がある方は以下の問い合わせ先までご連絡ください。

【再資源化に向けて対象とする廃棄物】

●プラスチック

ストレッチ PE(ポリエチレン)、フレコンバッグ (PE・PP)、プラスチックドラム (PE)
PE・PP・PET(ペット)・NY(ナイロン)・OPS(二軸延伸ポリスチレン)の単層品
PE・PP・PET・NYなどの複層品、アルミ蒸着フィルム、PLA(ポリ乳酸)容器、PP 容器 など

●金属

一斗缶やドラムなどの容器、機械類などスチール製品全般 など

●インキ・溶剤

印刷インキ、各種塗料、溶剤、接着剤 など

●オフィス機器・什器

デスク、椅子、パーテーション、OA 機器、キャビネット、照明設備 など

以上

サカタインクス株式会社について

サカタインクスは1896年に創業し、アジア、米州、欧州など世界の20を超える国と地域に展開する印刷インキ販売で世界第3位の化学メーカーです。各種パッケージや飲料缶、情報メディア媒体などに使用される印刷インキ、デジタルプリンティング向けの産業用インクジェットインキやカラートナー、液晶ディスプレイ用画像表示材料などの製造・販売を行っています。「ビジュアル・コミュニケーション・テクノロジーの創造」をビジネステーマとし、環境に配慮したサステナブル製品を通じて、「人々の暮らしを快適にする情報文化の創造」を目指し、新規分野への挑戦も続けています。

<https://www.inx.co.jp/>

エムエム建材株式会社について

エムエム建材は、2014年11月に、メタルワングループと三井物産グループの、建設鋼材事業と製鋼原料事業の統合により誕生した国内最大級の建設鋼材及び製鋼原料を取扱う鉄の専門商社です。三井物産、三菱商事、双日の各グループが持つ総合力を背景に、グループ会社と連携しながら、国内外での建設鋼材の販売や在庫・加工、各種工事の施工を行い、建造物等社会インフラの整備に携わっています。また、これら社会インフラの老朽化に伴う解体や製造工場等より発生するスラップを回収・選別し、製鋼原料として国内外の鉄鋼メーカーに販売する循環型ビジネスも大きく展開しており、脱炭素時代に適応したビジネスに取り組んでおります。

<https://www.mokmbs.com/>

お問い合わせ

- 【報道機関窓口】 コーポレートコミュニケーション部 田中、武田 Tel 03 (5689) 6601
【お客様窓口】 機能性材料事業部 牧野 Tel 03 (5689) 6624
【お問い合わせフォーム】 <https://www.inx.co.jp/contact/>